



☆ AWC事務局便り 11・12月号 ☆

子どもたちの職業体験

10月中旬にチェンマイ県の通信制の中学課程の子どもたちが職業の見学と体験に行きました。卒業後の子どもたちの進路を考える上で非常に重要な経験です。参加したのは、国籍がない子どもや、家庭に問題を抱えているためにそれ以上の進学は現実的ではない子どもたちです。お互いさまプロジェクトで交通費などを支援し、子どもの興味関心に沿った職業として、男子に人気のあるバイクや車の修理と、女子に人気のある調理に合計33人の生徒が参加しました。

バイクや車は子どもたちの関心が高く、熱のこもった見学ができ、調理では家庭料理と簡単なお菓子作りを体験することができました。家庭が複雑で幼い頃から家で温かいものを皆で食べるという機会に恵まなかった子どもたちも多いので、皆で一緒に料理をして食べるというのも楽しい時間だったと思います。

特にタイ国籍を持たない子どもにとっては、中学課程を修了した後、どのような進路を選ぶか非常に困難が多いのが現実です。引率指導のギー先生は子どもたちの考えを尊重し、まずは希望を聞くという姿勢を常に持ち、より条件の良い、安全な仕事に就くことができるように様々な配慮を行っています。

子どもは生まれるところを選んでくることができません。通信制の中学家庭を終えた子どもたちがしっかりと自分たちの将来を築いていけるように私たちもサポートしていきたいと思います。



タイ山地民の手仕事と暮らし展&お話し会

10月24日に横浜市瀬谷区のカフェ1tas1さまのレンタルスペースをお借りしてタイ山地民の暮らしに関するお話と手仕事を紹介するイベントを実施しました。

新型コロナウイルスの感染拡大を受け、ほとんどのイベントが中止になり、活動をお伝えできる機会が減少してしまっている中、レンタルスペースをお借りできたので、安心してイベントを実施することが出来ました。密を避けて2つのグループに分け、少人数で実施したお話し会は計11名のご参加があり、山地民の伝統文化と彼らが抱える社会問題、それに対するNGOのアプローチについてお話ししました。少人数であったため、たくさんのご意見をいただくディスカッションの会となり、お客様からの質問で新たな学びに繋がりました。

それぞれの民族の美しい手工芸品や、それらをモチーフとした雑貨もたくさんご購入頂きました。AWCが長い間かけて集め、大切にしている民族衣装も「素敵ね!」と称賛の言葉を頂きました。ご参加下さった皆さま、ご協力くださった皆さまに心より感謝申し上げます。
(ユースリーダー 原梓)



一年間ありがとうございました

この1年、コロナウィルスの蔓延により、私たちは様々な活動に大きな制限を受けることになってしまいました。タイに行けなくなりましたが、これまでのネットワークを活かしながら想像以上の活動を続けることが出来ました。ご協力下さいましたすべての方々に心から感謝申し上げます。来年もできる範囲で、最大限の活動を続けていきたいと考えております。皆さまお体にお気をつけてお過ごしください。